

入隊予定者の航空自衛隊熊谷基地研修 ～入隊がとても待ち遠しい！～



生活隊舎の説明を受ける参加者



隊員食堂で体験喫食

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 兼本貢祐一海佐）は、2月19日（火）、航空自衛隊熊谷基地で実施された入隊予定者部隊研修の同行・案内を実施した。

当日は、神奈川地方協力本部から一般曹候補生と自衛官候補生入隊予定者の22名が参加し、航空自衛隊第2教育群のブリーフィングや施設見学、体験喫食等が行われた。

当日の朝、バスの車内は入隊予定者達のやや不安そうな空気に包まれていたが、熊谷基地に到着するまで、同乗した上大岡事務所の航空自衛官である広報官の体談や、質疑応答の時間で過ごし、車内は和やかなムードに変わっていた。

ブリーフィング終了後に生活隊舎の見学が行われ、説明を聞きながら、綺麗に整頓されたベッド等を見て回り、入隊予定者達の笑顔の中にも期待と不安が入り混じった状況が窺えた。

その後、隊員食堂で体験喫食が行われ、食堂の広さと食事の量の多さに驚いていたが、とても美味しそうに頬張っていた。

食事を済ませた後、基本教練場や基地警備訓練場等を見て回り、真剣な眼差しで説明を聞いていた。

最後に「現場の自衛官による説明や施設見学が出来たことにより、入隊への不安や心配がなくなり、これから入隊日へ向けてしっかり準備をしていきます」と、参加者の声を聞くことができ、本研修の目的は達成出来たと思料する。

神奈川地本は、「今後もこのような研修に対象者を積極的に案内し、安心して入隊できるように入隊前の不安解消とともに入隊意志の向上を図り、募集成果に繋いでいきたい」としている。

神奈川県自衛隊遺族会の横田基地研修支援 「遺族相互の親睦を深める」



ブリーフィング



記念撮影

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長…兼本貢祐一海佐）は、平成31年3月7日（木）、神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」が計画した横田基地研修を支援した。

当日は、朝から冷たい雨の降る中、交通事故渋滞にも巻き込まれ到着が遅れたが、航空自衛隊横田基地の柔軟な対応によりスムーズに在日米軍による入隊手続きが行われ、担当者より「無事アメリカへの入隊手続きが完了しました。」との一言により研修が始まった。

研修は航空自衛隊横田基地作戦システム運用隊の支援を受け、航空自衛隊と横田基地の概要についてのブリーフィング及び展示航空機の説明を受けた後、庁舎前で全員の写真撮影が行われた。

昼食はアメリカの雰囲気漂う基地内のEクラブにおいて、日替わりピュッフェスタイルのメキシコ料理を堪能し、会員は相互の近況を語り合い終始和やかに楽しい時間を過ごした。

午後は車窓から広大な基地内を見学して各施設の説明を受け、初めて見る在日米軍施設の充実ぶりに会員一同驚いた様子であった。

基地研修終了後は、近隣の昭和記念公園内にある昭和天皇記念館を見学し、平成の時代の終わりが近づくと、激動の昭和の時代を懐かしむ会員の姿が見られた。

研修支援を通じ遺族支援業務の重要性と必要性を改めて実感するとともに、地方協力本部は遺族にとって身近な存在でいなければならないことを再認識した一日であった。